

緊急開催！

シンポジウム「大学が博物館を持つ意義」

—大学における付属博物館の役割を改めて考える—

大学付属博物館は研究成果の活用（展示や保存）、そして学芸員実習の場としての役割は論じられてきましたが、大学への志願者募集にどれくらいの役割を果たしているのか、また、大学の経営戦略の中でどう位置付けていくのかなど、その意義については、あまり明らかになっていないと思われます。

そこで大学付属博物館の現状を全国の博物館事情とも併せ考え、大学付属博物館の今後の役割について議論します。

会場：東京国立博物館黒田記念館・・・50名参加可

東京都台東区上野公園 13-43
JR上野駅公園口・鶯谷駅南口、東京メトロ上野駅・根津駅、
京成電鉄京成上野駅、徒歩 15 分

**対象：博物館関係者、大学学芸員課程関係者、
博物館・水族館に関心のある人**

**主催：全日本博物館学会（2024年度第3回研究会）
大学博物館シンポジウム実行委員会
（幹事 西源二郎）**

**申込：件名に「大学博物館シンポジウム参加希望」と記し、会場参加 or オンラインの別を明記し氏名・所属を添えて 3/14 までに下記までお申し込みください（先着順）。オンライン申込者には 3/15 に配信情報をお送りします。
gmnishigen24*gmail.com（*を@に変更）**

2025 年
3月 16 日(日)
13:00～16:00

※オンライン配信あり

【プログラム】

13:00 開会挨拶

13:05～ 日本の大学博物館について（栗原祐司：国立科学博物館）

13:50～ 東海大学海洋科学博物館と水族館就職志望学生との関係
（西源二郎：元東海大学海洋科学博物館）

14:20～ 休憩

14:30～ 明治大学博物館の事業展開
—大学の経営戦略との整合性について—
（外山徹：明治大学博物館）

15:00～ 総合討論

16:00 閉会

※発表タイトルは変更になる場合があります